

国語科学習指導案

単元名 メモの取り方をくふうして聞こう
日時 平成 30 年 6 月 5 日
学年・組 第 4 学年 3 組（男子 16 名 女子 20 名 計 36 名）
場所 4 年 3 組 教室

指導者 池田 裕晃

単元について

- 本単元の重点指導事項は、学習指導要領における A 話すこと・聞くこと（1）エ「話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。」である。順序だけでなく理由を表す言葉に着目し、話の組み立てをとらえて、大事なこととその理由をメモに取りながら聞く力を付けることをねらいとする。また、話の内容をより理解するために、メモを活用して質問することもねらいとしている。

児童の実態

- 基になる既習事項にかかわって
レディネステストを実施したところ、まとまりごとにメモを取ることは 50% の児童ができていた。また、聞いたことを短い言葉で書くことについては、58% の児童ができていた。メモを取ることにについて学習する単元は 1 年ぶりであり、学習したことをすぐに思い出せない児童が多いことが分かる。ナンバリングしながらメモをすることについては 14%，記号等を使ってメモを簡略化することについては 17% の児童ができていた。以上のことから、単元の学習を始めるにあたり、既習事項を確認しながら指導を進める必要があると考えられる。
- 個の実態にかかわって
A 児…授業への集中力が低く、よく手遊びをしたり、指示を聞き逃していたりする。
B 児…学習には意欲があるが、理解力が低く、指示を理解できていないことがある。

手立て

- 本単元では、課題発見・解決学習となるよう、第 1 時で始めにとった児童のメモを基に、メモを取る活動の目的を明確にし、学習への必要感を高めるところからスタートする。第 1 時で見つけた課題を解決するために、メモを取る際の工夫点について学び、単元の終末には身に付けた力を使ってメモが取れるように仕組んでいく。メモの工夫点については、児童のメモを比較することで、課題を焦点化できるようにしていく。また、メモがどのように完成していくかを、黒板に貼った拡大コピーに書き込みながら確認していくことで、メモの過程を視覚化していく。
- ★ 本時では、児童のメモを共有化するため、児童用タブレット型 PC と電子黒板を活用する。普段、メモを交流することは学級全体では難しく、グループ内で新しい気づきが生まれない場合もあるが、電子黒板に提示したメモを基に交流することで、全体でメモの工夫について話し合うことができるようになる。この活動を通して、単元における課題の発見を促していく。
- A 児…児童用タブレット型 PC を活用することで、授業への参加意欲を高める。また、他者のメモを電子黒板で視覚化することによって、集中を促すようにする。
B 児…児童用タブレット型 PC の操作で困る場合が考えられるので、早めに教師の支援を行う。振り返り際には、板書を参考にしながら学習を振り返ることができるよう、板書にキーワードを明示しておくとともに、個別指導を行う。

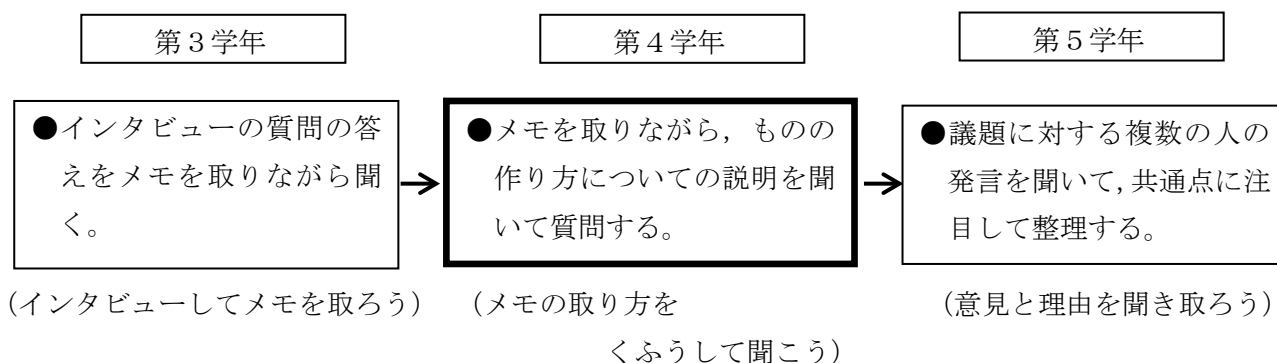
1 単元目標

- 必要なことを聞き取り，工夫してメモを取ろうとしたり，足りない情報を補うため質問しようとしたりすることができる。【国語への関心・意欲・態度】
- 話の組み立てや事柄どうしの関係をとらえてメモに整理しながら説明を聞き，質問して情報を補うことができる。【話すこと・聞くこと】
- 指示語や接続語の役割について理解し，メモをとったり話の内容をとらえたりすることができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

2 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
・話を聞いてメモを取ることに意欲を持ち，事柄と事柄の関連を正しく聞き取ろうとしている。	・事柄と事柄の関連が分かるようにメモの取り方を工夫しながら聞き，質問をして必要な情報を補っている。	・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。

3 単元の系統性



4 本単元を通して育成したい資質・能力と目指す児童の姿

自分の考えをもつ	・話を聞き，自分なりにメモを取りながら内容を把握しようとしている。 ・メモを基に質問の内容を考え，実際に質問をすることで話の内容をより深く理解しようとしている。
主体的に学ぶ力	・メモの取り方について課題意識をもち，メモの取り方の技能習得に向けて，積極的に取り組もうとしている。
互いに関わり合う力	・互いのメモを交流しながら，よりよいメモの取り方や，質問の内容について考えを深め合おうとしている。

5 指導と評価の計画（全4時間）

過程	時	学 習 内 容	評価の観点				
			関	話 聞	言	・評価規準（評価方法）	資質・能力 の評価
課題の設定	1 （本時）	・メモを取る活動についての課題を把握し、活動への意欲を高める。	○	○		・メモの取り方を工夫して、話の組み立てをとらえながら話を聞くことに意欲的に取り組もうとしている。 （行動観察） ・話の組み立てや事柄どうしの関係を正しく聞き取りながらメモを取るとよいことを理解している。 （行動観察・ノート）	主体的に学ぶ力 互いに関わり合う力
課題の解決	2	・メモの取り方の工夫や質問の仕方について考える。		○	○	・話の組み立てや事柄どうしの関係を正しく聞き取りながらメモを取る工夫を考え、質問の仕方を理解している。 （メモ・行動観察） ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。 （メモ・行動観察）	自分の考えをもつ
	3	・メモの取り方を工夫しながら聞く練習をする。		○		・聞き取ったメモを基に、分からないことや詳しく聞きたいことについて質問をしている。 （メモ・行動観察）	自分の考えをもつ 互いに関わり合う力
まとめ・表現・振り返り	4	・学習したことを基に、メモを取る。 ・単元のねらいが達成できたか振り返る。	○	○		・話の組み立てや事柄どうしの関係をとらえてメモに整理しながら話を聞き、質問をして必要な情報を補っている。 （メモ・質問） ・話を聞きながらメモを取るときの工夫の仕方やメモを生かした質問の仕方を理解し、今後の学習や日常生活で生かそうとしている。 （行動観察・ノート）	主体的に学ぶ力

6 本時の展開

(1) 本時の目標

○メモの取り方を工夫して話の組み立てをとらえながら話を聞く活動の見通しをもち、活動に意欲的に取り組もうとすることができる。【国語への関心・意欲・態度】

○話の組み立てや事柄どうしの関係を正しく聞き取りながらメモを取るとよいことが分かる。

【話すこと・聞くこと】

(2) ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりの工夫

○電子黒板とタブレット型PCを活用し、児童のメモを提示して比較させることで、メモを工夫することのよさに気付かせ共有化する。また、工夫してメモを取る学習では、短くまとめたりナンバリングをしたりして、話をまとめながら聞く方法について焦点化する。

○話の原文を黒板に貼り、どの部分がメモに生かされているかが分かりやすくなるよう視覚化する。

(3) 準備物

教師用タブレット型PC，電子黒板，児童用タブレット型PC（36台），原文の拡大コピー

(4) 学習の展開

段階	学習活動	指導上の留意事項や C：予想される児童の反応	◎支援と●評価規準 部はICT活用
問題把握	1 教科書の話聞いて、メモを取る。	既習事項について想起させ、現在の自分の聞く力を把握させる。 C：久しぶりにするとどうすればよかったか忘れた。 C：もっと短く，速くメモをすればよかった。	
	2 メモを取ることへの課題をもち，単元の学習への見通しをもつとともに，本時のめあてを把握する。	単元の見通しをもたせ，学習への意欲を高める。	◎今のメモの状態をもとに単元の学習を進めていくことを確認し，課題を児童に把握させる。 焦
	3 それぞれのメモを児童用タブレット型PCで撮影し，送信する。	操作の方法を明確に指示し，分からない児童には早めに支援してあまり長く時間を取らないようにする。	◎児童用タブレット型PCを活用し，全児童から送信されたメモを集約する。

本時のめあて

メモを取るときにはどんなふうをすればよいのか考えよう。

考える	4 それぞれのメモを比較し、メモの工夫のよさについて考える。	・児童のメモを比較して提示し、メモの内容や書き方について気付きが生まれるようにする。	◎電子黒板で児童のメモを比較して表示する。 共
深める	5 メモをする工夫について気付きを整理する。	C：番号をつける（ナンバリング）と分かりやすい。 C：話の順序にそってまとまりごとに区切っている。 C：短く書けるよう省略している。 C：記号を使って整理している。 ・拡大コピーを黒板に貼り、メモで省略された部分を示す。	◎話のどの部分がメモに生かされているか、拡大コピーに記入して確認する。 視 ◎詳しく示したい点は、児童用タブレット型PCに再送信し、手元で確認させる。 共 ●メモの取り方の工夫について、意欲的に考えを交流しようとしている。 （行動観察） ◎拡大コピーをもとに、学習内容を整理していく。 ●話の組み立てや事柄どうしの関係を正しく聞き取りながらメモを取るとよいことを理解している。 （行動観察・振り返り）
まとめる	6 学習をまとめる。		
振り返る	7 学習したことを生かして、もう一度同じ話でメモを取る。 8 振り返りをする。	C：短くまとめながら書けた。 C：まとまりのところで数字を打つと分かりやすいことが分かった。 C：短くまとめて書くことをがんばりたい。	

まとめ

メモを取るときには、話のまとまりに気を付けて聞くとよい。

7 板書計画

メモの取り方をくふうして聞こう ⑥ メモを取るときにはどんなくふうをすればよいのか	話の原文のコピー	○ 順じよに番号をつける まず↓① 次に↓② 最後に↓③ ○ まとまりごとに区切る ○ 短く書く ○ 記号にする	⑦ メモを取るときには、話のまとまりに気をつけて聞くとよい。
---	-----------------	---	---------------------------------------